

申請者	学科名	造形デザイン学科	職名	准教授	氏名	中西俊介	印
調査研究課題	学習教材用教育系マンガに関する研究						
交付決定額	500(千円)						
調査研究組織	氏名	所属・職		専門分野		役割分担	
	代表	中西俊介	造形デザイン学科	グラフィックデザイン メディアデザイン			
	分担者						
調査研究実績の概要	<p>【調査研究目的】 マンガという文化が日本人の社会生活に根付いているにも関わらず、教育分野で有効的に活用されているとは言えない状況である。本研究では、比較的活用されている歴史や人物史のマンガ利用の状況を調査研究し、今まで試みられていない教科・領域について、学習教材用教育系マンガの活用方法を検討するとともに、教科ごとの効果的な展開およびレイアウト手法の構築をすることを主な目的としている。</p> <p>【調査研究活動の成果】 本研究は、平成25年～26年度の2年間において下記3項目の実施を予定しており、平成25年度は主に(a)と(b)の研究を行う予定であったが、順調に研究が進まなかったことにより、(a)を中心とした研究を実施した。 (a) 学習教材用マンガのためのレイアウト方法およびページ構成の手法 (b) 学習教材用マンガの執筆および評価分析 (c) 学習教材用マンガの電子書籍活用方法の研究</p> <p>(a-1) 各専門領域関係者へのインタビュー調査 調査対象者 ①山田祐史氏（トランスポップギャラリー代表/漫画編集者） ②教科書編集者（匿名）※当初、計画していた教科書出版社編集者については、社内守秘に関することに触れると言うことで明確な調査は拒否された。しかし、教育出版業界における</p>						

<p>調査研究実績の概要</p>	<p>マンガに対しての考え方については得ることが出来た。</p> <p>(a-2) マンガ教材の科目毎利用調査 書店およびウェブを利用して科目ごとの発売冊数を調査し、以下の結果を得た。 算数/47冊, 国語/97冊, 理科/57冊, 地理/30冊, 歴史/多数のため冊数不明, 公民/5冊, 体育/8冊, 音楽/63冊, 美術/3冊 (資料1)</p> <p>(a-3) 各教科におけるレイアウトおよびページ構成方法の構築 マンガを活用した教材16冊について、それぞれの構成を調査し特徴を分析した。(資料2) 以上の調査結果から、まだ既存制作物が少ないという観点から、実験制作を行う科目として美術(小学校高学年向け)を選定した。 今年度の最終成果物として、誌面構成を試作した。(資料3)</p> <p><b>【考察と今後の展開】</b> 研究の結果、以下の結論を得た。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 科目の内容全体をマンガに置き換えることはページ数が膨大となり非常に不効率であることが判明したため、デジタルツールと併せて最大限に効果が発揮できる内容とすることとした。制作については次年度に引き続いて実施する。</li> <li>2. マンガは内容の変更が難しいという欠点を内包しているため、記載情報の更新頻度の高い科目(公民, 科学, 情報, 等)については、その使用方法に注意する必要がある。</li> <li>3. 市場で販売されている参考書についてはマンガを活用したものは多いが、学校の授業で活用されているマンガ教材は皆無に近い。</li> </ol>
<p>成果資料目録</p>	<p>資料1 算数教材リスト 資料2 マンガ利用教材調査票 資料3 マンガ利用教材【美術】誌面構成試作(両面)</p>